

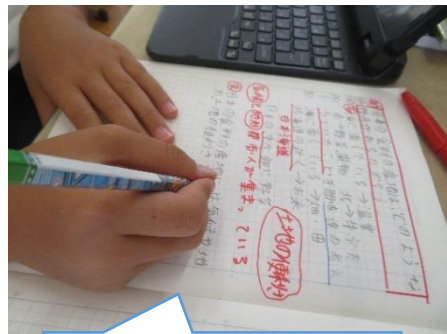


## 提案授業より

視点	今後も継続して取り組む点	改善していく点
学習規律	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャイムで始まり、チャイムで終わる</li> <li>○メモをしながら話を聞くことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★チャイムで終わるための時間配分(何に時間をかけ、何を省くのか)</li> <li>★メモもしながら反応する</li> </ul>
聴き合いタイム 問い返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「聴き合いタイム」の設定</li> <li>○問い返し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「みんなの作品」を使うときには、形式的なグループではなく、オープンな話し合いをする →「聴き合いタイム」の目的をはっきりさせる</li> <li>→普段の授業の中で、自分自身で考えたり友達に聞きに行ったりするなど選択できるようにする</li> </ul>
ICTの効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノートとタブレットの使い分け</li> <li>○グループワークより「みんなの作品」の方が使いやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★どの学年でも「みんなの作品」を活用していく</li> <li>★資料を背景化するかしないか →児童の表現力・自己選択の幅を広げる</li> <li>★スクリーン・・・見せたい教材・問題 大型テレビ・・・児童の発表のため</li> <li>★ノートには要点だけ</li> <li>★教師もタブレットを持ちながら机間指導 →児童の考えを見る、ヒントを示すなど</li> </ul>
その他 授業デザイン 指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめの前に、めあてに戻って考えさせる。</li> <li>○めあてもまとめも子どもたちから言葉を引き出す。</li> <li>○ノートやタブレットなど、自分に合ったものを選択できるようにしていく。</li> <li>○既習内容を復習する。→つながりがないのか考える。問い返しにつながる。</li> </ul>	



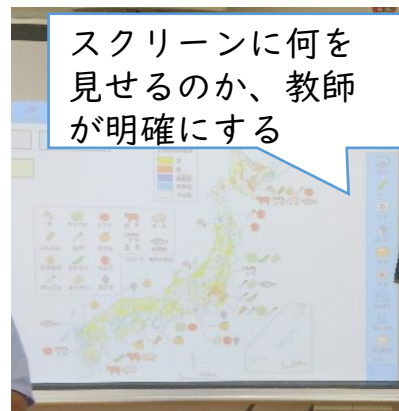
導入時のICTの活用



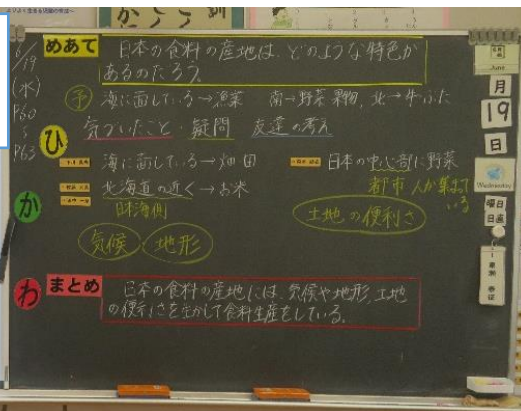
ノートとタブレットの使い分け



配付する発表ノートの工夫  
児童の表し方



スクリーンに何を  
見せるのか、教師  
が明確にする



### 【みんなで考えていくこと】

- ①「聴き合いタイム」のねらい・在り方
- ②「みんなの作品」の活用
- ③ノートとタブレットの使い分け
- ④大型テレビと電子黒板(スクリーンの使い分け)

